

オフィスビル最前線

THE FOREFRONT OF OFFICE BUILDINGS

1

都心の新しい動脈線「大江戸線」の開通などにより、
利便性がさらに高まった東京・晴海地区。
新たなウォーターフロントのビジネス最前線・
晴海に、来年4月、「晴海アイランド
トリトンスクエア」がよいよ誕生する。

トリトンスクエア オフィスタワーX
第一生命保険相互会社

大江戸線の開通で利便性アップ

来年4月、東京駅から3km圏、銀座から2km圏の中央区晴海に「晴海アイランドトリトンスクエア」が誕生する。

このプロジェクトは、「晴海一丁目地区第一種市街地再開発事業」として着手された。トリトンスクエアは、開発総面積10万㎡の大規模開発。世界とつながる国際ビジネスタウンの創出をめざす「オフィスゾーン」、3棟のトリプルタワーに囲まれたグランドロビーの上部に位置するコンサートホール、多彩な商業・サービス施設等からなる「賑わいゾーン」、そして一体性のある親密なコミュニティの実現をめざす「住宅ゾーン」の3つ

の機能が融合した、先進的かつグローバルな新たな都市空間。

本年12月に開通する、都営地下鉄・大江戸線により、晴海と都心の距離感が一層縮まった。最寄駅「勝どき」駅へは「動く歩道橋」で徒歩4分の近さ。大江戸線は既設線との乗り換え駅が豊富なため、都心の、ひいては首都圏全域からの交通アクセスが大幅に向上。スピードが求められるビジネスニーズへの対応は万全だ。

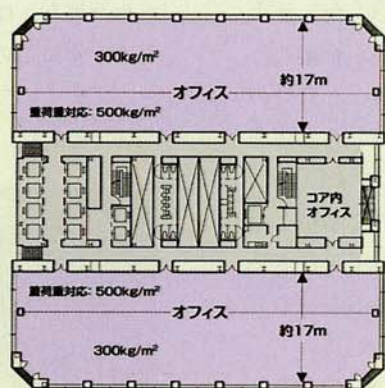
充実の内部機能と最新設備

オフィスゾーンには、高さ155m、175m、195mのトリプルタワーを含む、計4棟のインテリジェントビルが建設されている。

豊かな文化と自然が調和し、ビジネスの中心を担うトリプルタワーは、東京でも希少性の高いシンボリックな都市景観を創出し、21世紀のランドマークとなるビル。なかでも「オフィスタワーX」は、街区最高の高さ195mを誇る44階建ての超高層ビル。建物外周に、アンボンドブレースを配することにより、地震発生時のエネルギーを吸収。阪神大震災級(震度7)の地震が発生した場合でも、安全かつ安心の耐震設計である。また、3棟を結ぶ連結制振装置(ダンパー)により、強風時の耐風性能を向上させ、快適な居住性を確保。

設備面では、高さ100mmのフリーアクセスフロア、1フロア14系統の空調制御、電気容量は標準40VA/㎡で80VA/㎡まで増設可能、非接触ICカードでのセキュリティ管理などトップグレードの最新機能。通信インフラの面でも、ビル内に高速大容量通信に対応した通信ケーブル網(光・メタル)を各フロアEPSまで実装。高度に情報化されたオフィスをバックアップする形となっている。オフィス空間は、1フロア有効面積約600坪、17m×54mの無柱空間、そして余裕の天井高2,700mmを確保した、レイアウトフリーのワイドスペース。充実の機能と最新設備が快適オフィス環境を提供する。

■中層基準階平面図



■建物概要

所在地／東京都中央区晴海1丁目
敷地面積／3,181㎡(962坪)
容積対象面積／125,404㎡(37,935坪)
構造／地上 鉄骨造
地下 鉄骨鉄筋コンクリート造
規模／地下4階、地上44階、塔屋3階

駐車場／74台(別途街区全体共用分530台)
竣工／平成13年4月
所有者／第一生命保険相互会社
東晴建物株式会社

安心の耐震・耐風設計

トップグレードな最新設備

レイアウト自由な
ワイドスペース

ゆとりの共用空間

抜群の眺望と自然光あふれる
開放的な空間



第一生命

世界を眺望し、世界を迎え入れる東京の玄関口・晴海に、平成13年4月、日本最大級のプロジェクトである、晴海アイランド トリトンスクエアが誕生します。晴海の新しい顔として登場するオフィスゾーン・トリプルタワーの中で、街区最高の高さを誇るのがオフィスタワーXです。

平成13年4月、世界に開かれたビジネス拠点
晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーXが誕生。

●お問い合わせ

第一生命保険相互会社

不動産部 東京都千代田区有楽町1-13-1 〒100-8411

TEL.03-5221-5123

株式会社第一ビルディング

テナント営業部 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル 〒104-0031

TEL.03-3564-7306

